



にじ組

2月のアートでは卒園製作を描き、いよいよ子ども達の卒園がもう間近なんだな、と感じることが多くなってきた今日この頃。

「ランドセル届いたんだ」「小学校の先生ってめっちゃ怖いんだよ！」などという子ども同士の会話も聞かれ、小学生になることへの期待と不安の気持ちが入り混じった様子のにじ組の子ども達。

お子さんによっては、最近ちょっと不安定かな？と感じる行動が見られたり、「学校やだな～」

「保育園とさよならするのさみしい」と、言葉で不安な気持ちを表す子もいます。

どの子も、多かれ少なかれ新しい環境への不安は感じると思っていますので、スキンシップを取ったり、たくさんお話を聞いたり、お子さんが安心できることをいつもよりも少し多めにしてみてください。

こども達が残り1ヶ月の保育園生活を、十分に満足して過ごすことができるように見守っていきたいと思います。



心も体も大きく成長しました



みんなが大好きなドッチボール。投げるのも逃げるのも上達して、どうやったら当たりやすいか、作戦も考えてゲームができるようになっていきます。

仲間同士で合図を送り合ったりして、なんだか小学生みたいだな、と感じる瞬間もあります。

先日、初めて年中さんも一緒にドッチボールをしたことがありました。

年中さんはドッチボールのことをあまりよく知らないから、教えてあげてね。

みんなよりも体も小さいし、力も弱いからよろしくね。

と、それだけ伝えてゲームを始めました。

いつもなら、力いっぱい相手に向かってボールを投げたり、ボールを取りたいがために力づくで突っ込んでいくこともある子ども達。

ボールの取り合いで喧嘩になることだってあります。

それが、年中さんが入ったことで、自分が取ったボールを譲ってあげたり、わざとボールが当たらないように投げたりと、小さい子を思いやって加減する姿がありました。

大人にあれこれ言われなくても、どう行動することが良いのかを考えられる力があるんだな。

また、一人がそういう行動を取ることで「あ、そうするといいんだ」と人の行動を見て気付ける力があるんだな、としみじみ感じました。

心も体もどんどん成長していくみんなの姿が、とても眩しく、頼もしく感じられたひとコマでした。

お茶のお稽古にて
年中さんに作法を教えてあげました。